

「関西実習」を実施しました。

1年生全員で、10月11日（水）～13日（金）の2泊3日で「関西実習」を行いました。コース別に、のべ24もの大学・研究施設や企業にお世話になりました。訪問先では講義を聴講して、最新の研究成果に触れるとともに、学問や研究の意義を学んだり、先端の研究施設における見学や実習を通じ、普段味わうことのできない貴重な経験をしたりすることができました。事前課題への取り組み段階から、生徒の意欲的に学ぶ姿が見られました。この経験が、今後の学びに活かされるとともに、進路選択の一助となることを期待しています。

目的は次の2点です。

1. 先端科学技術の実習体験、見学等の学習活動を通して、理数系領域への興味・関心を喚起し、主体的な進路選択に向けて自ら意思決定ができる能力を育む。
2. チームでの協働的な学習を行うことによって、主体性、協働性、創造性など汎用的な学びの力を身につける。

訪問先は次の通りです。

1日目

1. 大阪大学核物理研究センター
2. SPring-8

2日目

1. 立命館大学理工学部・同志社大学生命医科学部
2. 大阪大学大学院基礎工学研究科・大阪市立大学医学部
3. 近畿大学理工学部・近畿大学農学部
4. 神戸大学理学部
5. 摂南大学理工学部
6. 近畿大学薬学部・大阪薬科大学薬学部
7. 京都大学大学院理学研究科
8. 京都大学理学部・大阪教育大学教育学部

3日目

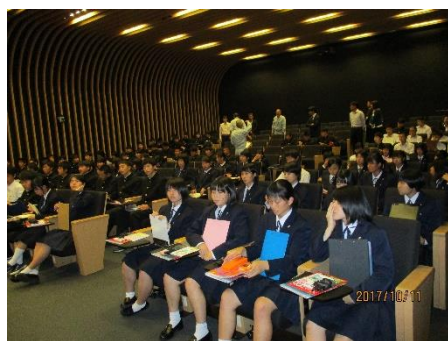
1. 情報通信研究機構（NICT）・国際電気通信基礎技術研究機構（ATR）
2. オムロン京阪奈イノベーションセンタ
3. 地球環境産業技術研究機構（RITE）
4. 江崎グリコ
5. パナソニックエコテクノロジーセンター
6. 大阪市下水道科学館
7. 人と防災未来センター
8. 島津製作所

生徒は、各訪問先から提示された事前課題に取り組んだ後、研修に臨みました。かなり難しい課題を課していただいたコースもあり、苦労しながらも調べて、レポートをまとめ、質問を準備して実習に臨みました。

各研修先では、さまざまに工夫を凝らした講義・実験・見学を準備してくださいました。先端的な研究や技術に触れることはもちろんですが、学ぶことの意義や、高校時代にしておくべきことなどについてもお話しいただき、刺激を受けました。

当日の様子をご覧ください。

<1日目>



<2日目>

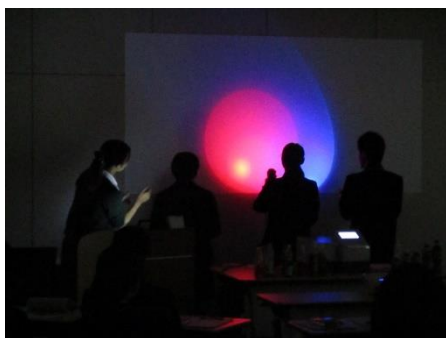




<夜間研修>



<3日目>



お世話になりました研修先の皆さまにお礼申し上げます。

<ポスターセッション> 10月18日(水) 5～7限 益田高校体育館

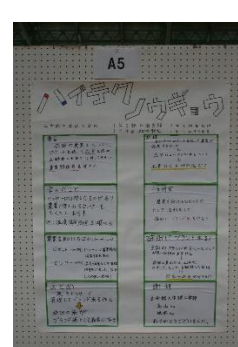
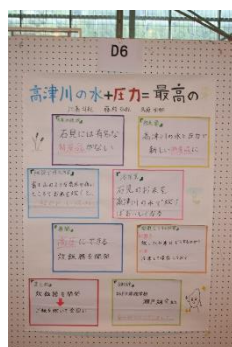
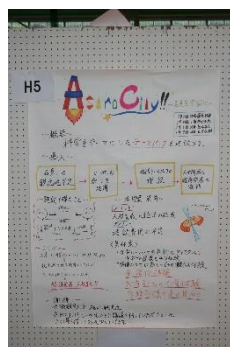
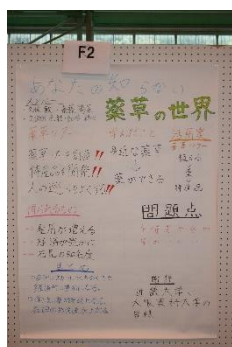
関西実習2日目に訪問した大学で得た知見をもとに、「石見発展のためのアイデア」をポスターにまとめ、意見交換をするポスターセッションを実施しました。

目的は以下の通りです。

1. 実習を通じて得た知識や理解を深める。
2. 発表や表現の能力を向上させる。
3. 取り組みを相互評価し、学びに対する意欲を高める。

実習先で学んだ科学技術を地域発展へ、どのように活かすのかをグループ毎にまとめ、展示・発表しました。単に学んできた施設を益田に作るというのではなく、学んだときに感じた思いを地域の教育に生かそうとしたり、学んだ事象を人の流れに置き換えたりといった創意工夫を凝らした作品が多くありました。7月に実施した地域巡検の発表会時に比べると、原稿を見ずに堂々と発表し、聴講者との質疑応答を活発に交わす様子が見られ、成長した姿を見ることができました。

発表当日は、益田市の関係者様、保護者様をはじめ、多くの方にご来場頂きました。ありがとうございました。



H29 関西実習ポスターセッション 優秀班

優秀賞	「ほろよいのまち益田 ～自分飲めます割～」	福原遼太・堀野なすな・椋陽南・齋藤凌太
	「ドラッグで益田に Good luck」	大石伊杏・大庭百々香・中村愛美
	「微分って何？必要あり？」	下森智貴・小原勇貴・内田悠人・俵直也
	「マスダ 100%」	福岡俊輔・澤江隼也・齋藤丞・齋藤史巳
	「Astro City!! ～石見を宇宙に～」	藤井紗希・熱田知奈・並河辰樹・高木拓人
優良賞	「高齢者パラダイス」	伊藤華奈・岡健太・岩本悠奈・吉田琴音
	「発電都市『石見』」	山田俊平・村上優音・村上雄輝・和崎暖奈
	「ハマグリのお引越し大作戦」	遠藤結佳・遠藤咲季・塩満恒・下森紘平
	「高津川の米+圧力=最高の米」	藤枝弘記・馬庭由帆・比嘉斗紀
	「あなたの知らない薬草の世界」	久保敏・久保田光結・齋藤陽菜・細谷耕心